

Eat Well, Live Well.



味の素株式会社

オープニングリマークス
～イノベーションを創出する
マーケティングの進化とDX推進～

取締役 代表執行役社長

藤江 太郎

2024年7月1日

本日お伝えしたいこと

- 味の素グループは全社一丸となり、中期ASV経営2030ロードマップを推進中。ASV指標の達成に向けては、マーケティング・DXの進化が極めて重要であり、取り組みを加速させている。
- 強いビジネスモデルを基盤にマーケティングの取り組みを進化させ、より生活者起点で独自性のある新たな価値を創出し、伝え、届け続けることで、事業の成長と構造強化を図る。
- 味の素グループのDXは、デジタルを活用した企業変革。全社横軸での戦略・取り組みの強化を図り、従業員自らが変えていく「全員変革」を推進することで、企業価値向上を実現する。

アミノサイエンス®で 人・社会・地球のWell-beingに貢献する

10億人
の健康寿命を延伸

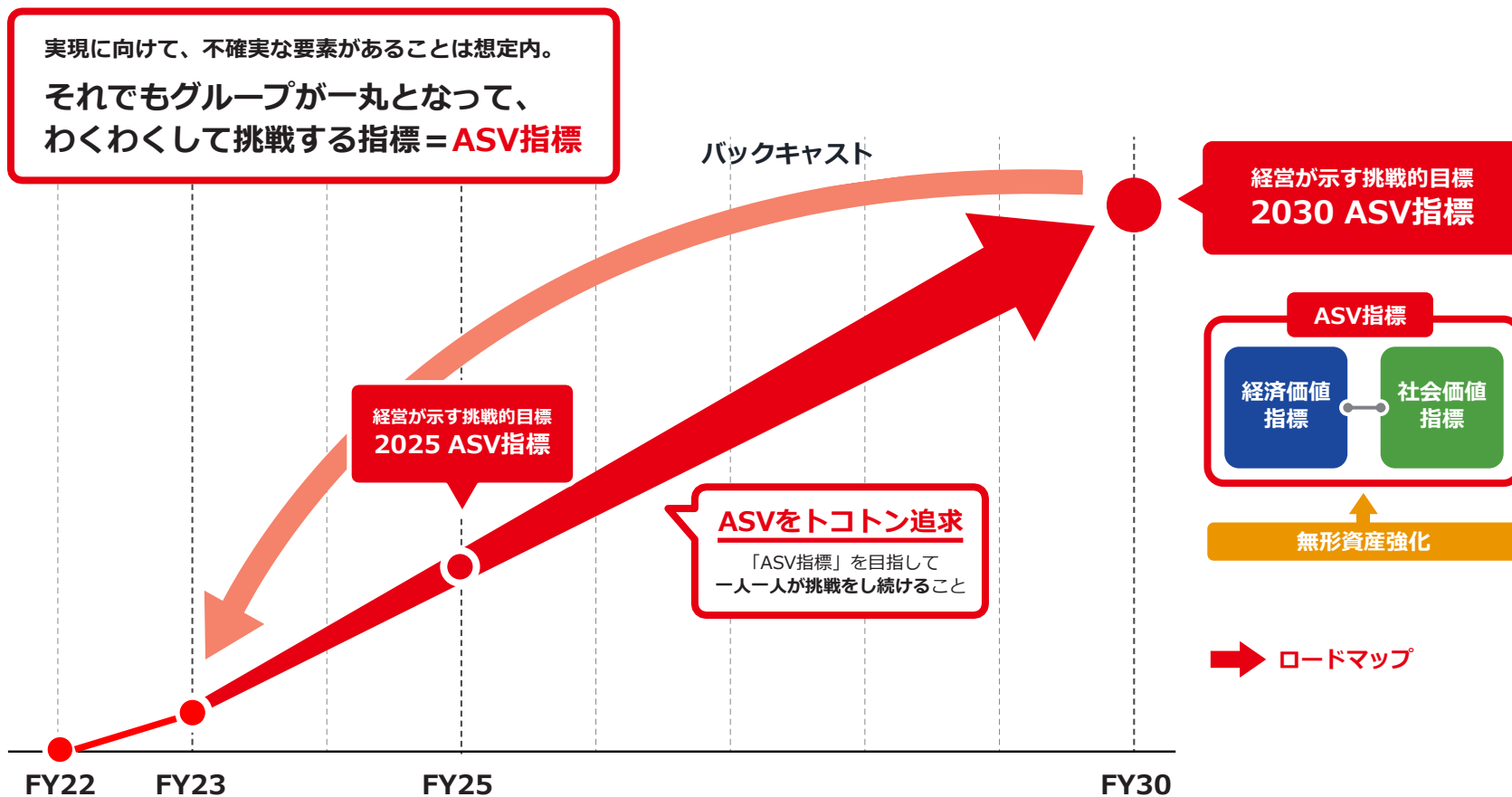
&

50%
環境負荷を削減



中期ASV経営へのマネジメント変革

コミットメントとしての業績予想を追いながらも、新たな価値や事業モデル変革を追求し続け、「ASV指標」への挑戦をし続け実行力を磨き向上させる「中期ASV経営」を推進中。



2030ロードマップ° ASV指標

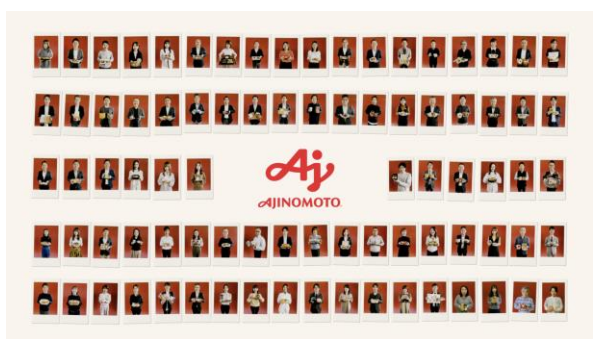
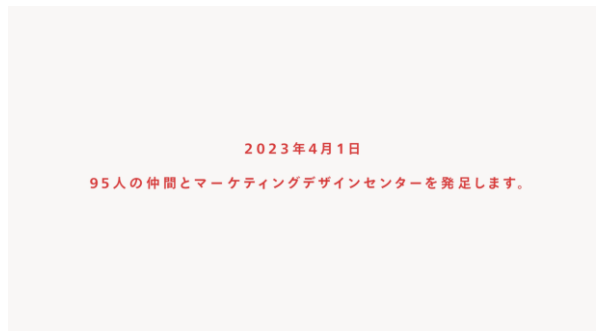
ASV指標の達成に向け、マーケティング・DXの進化を図り、イノベーションを創出していく。

		FY22	FY23	FY24 業績予想	FY25計画	FY30計画	【参考】 EPS 約 3倍 (FY22対比) を目指す
ASV指標	経済価値指標						
	ROE (Forge社買収影響除く)	12.9%	11.0% (11.4%)	約12% (約13%)	18%	約20%	ASVが 飛躍的・継続的に向上し、 ステークホルダー・ 社会にとって 魅力的な企業で あり続ける
	ROIC (>資本コスト) (Forge社買収影響除く)	9.9%	8.7% (9.4%)	約9% (約10%)	13%	約17%	
	オーガニック成長率	9.5%	1.7%	約7%	5% (FY22-25)	5%~ (FY25-30)	
EBITDAマージン	15.2%	15.7%	約16%	17%	19%		
				経営が示す挑戦的目標			
	社会価値指標						
	環境負荷削減の 取り組み	-	-	-	-	環境負荷 50%削減 (アウトカム)	
	栄養コミットメント <small>栄養以外の貢献についての指標も 今後検討予定</small>	8.8億人	-	-	-	10億人の 健康寿命延 伸 (アウトカム)	
	無形資産 強化						
	従業員エンゲージ メントスコア	75%	76%	-	80%	85%~	
	コーポレート ブランド価値	1,391 <small>(実績 前年比 +15%)</small>	1,625 <small>(実績 前年比 +17%)</small>	-	FY22比、CAGR 7%~		

(mUSD, Interbrand社公表値)

マーケティングの進化による成長ドライブ

2023年4月マーケティングデザインセンター（MDC）を設立。
 「打席に立ち、バットを振る」ことを重視しながら、より生活者起点で独自性のある
 新たな価値を創出し、今後の柱となる年間二桁億円以上に育つ製品が複数出てきている。
 日本国内事業を活性化し、成功例をグローバルへと展開を進めていく。



DXの進化による変革の推進

2019年にDX推進委員会およびDX推進部を立ち上げ、グローバルに全面展開を開始。
 味の素グループのDXはデジタルを活用した企業変革そのもの。
 デジタル技術をフルに活用して、経営のスピードアップとスケールアップを図っていく。

DX ⇒ **d X**
 (digital **TRANSFORMATION**)

デジタルを活用した
企業変革

登壇者のご紹介



岡本達也

Campaign Asia-Pacificにおいて
「アジアで最も影響力のあるCMO 50人」
に選出

CMO : Chief Marketing Officer (最高マーケティング責任者)



香田隆之

Forbes JAPAN社の「CIO AWARD
2023-2024」において、「DX推進賞」
を受賞

CIO : Chief Information Officer (最高情報責任者)

Eat Well, Live Well.



- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、本資料の発表日現在における将来の見通し、計画のもととなる前提、予測を含んで記載しており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後様々な要因によって、大きく異なる結果となる可能性があります。
- 本資料には監査を受けていない概算値を含むため、数値が変更になる可能性があります。
- アミノサイエンス®は味の素株式会社の登録商標です。